

附属札幌中学校「学校だより」

藤 房

北海道教育大学
附属札幌中学校

令和2年3月25日発行

No.12

今年度を終えるにあたって

学校長 萬谷 隆一

令和2年度のしめくりを迎え、保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご協力・ご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

この1年間は新型コロナウイルスにより異例続きの1年でした。4月、5月の休校期間は、学校にとっても初めての経験でしたが、ましてやお子様たちにとって、たいへんな生活の変化を強いたものと思います。休校になったことで、長い自由時間が与えられ喜んだお子様もいたと思いますが、一方で、いかに一人で自分を律しながら学び、暮らすことが難しいかを身をもって感じたお子様も多かったであろうと思います。ご家庭におかれましても、お子様の健康を守ること、家庭での生活習慣づくり、孤独な中、一人で学習する心身の整えなど、きめ細かく支えられていたのではないかと思います。学習面、生活面について学校とも密接に連携・ご協力をいただき、まことに感謝に堪えません。



休校が明け、再登校したとき、生徒たちが、友人たちに再会して、実に嬉しそうな表情をしていたことが今でも強く印象に残っています。友人と一緒に学べること、人と接しながら語り合うことが、いかに人間にとって重要なことなのかということを感じたのではないかと思います。学校という場があることの意味について、思いを至した生徒も多かったと思います。

おかげさまで、今年一年の学習は、学校再開以来、順調に教育課程を進めることができ、無事年度末を迎えることができました。行事についても、異例続きの1年でしたが、なんとか工夫して、可能な限りの形で実行することができ、生徒たちの思い出を残すことができたことを大変嬉しく思っております。1年生はモエレ沼までの道を踏破し、現地で全体でのレクレーションや班活動に取り組みました。2年生は、宿泊学習を断念し、一日日程で野外で炊事をしました。それぞれの行事は、単なるイベントとは全く違い、事前の計画・準備、事後の振り返りも含め、お子様たちの成長のための、たいへん貴重な機会でした。行事を通して、生徒たちは、ゴールを見据えて時間や方法について段取りすることや、人と協調的に互いの声を聞きながら進める調整力、自らの役割と責任の意識など、学んだことは実にたくさんあり、そうした行事を通してお子様たちが成長してゆく姿を見ることができたことは、まことにうれしいことでした。

同様に、藤華祭も、非日常の行事ではありますが、生徒たちはそれぞれの役割分担をして、一生懸命に祭りの成功に向けて頑張りました。演劇のプロットも意外な展開と凝った演出がちりばめられており、各種の展示や校内装飾も創意工夫がたくさんありました。やはり、この大きな行事も、生徒たちの計画性と協調性が問われるものですが、各分担がそれぞれに力を尽くして、成功を果たすことができたという達成感は、生徒たちをひとまわりたくましくしたのではないかと思います。

また今年度は、総合的な学習時間の取り組み・報告もとても見応えがありました。報告会の開催が危ぶまれる局面もありましたが、開催方法を工夫して発表会にもこぎつけました。附属中の生徒たちは、教科の学習でも活

躍しますが、本来のポテンシャルを発揮できるのは、やはり自ら選んだトピックを深め、探究することではないかと思います。総合的な学習時間の発表会を聞いていますと、「これ面白いから、ぜひ聞いて下さい!」という、意欲あふれる発表に感銘を受けます。おそらく、その「やる気」の源泉には、「自分で選んだ」ということがあると思います。最初の学びのスイッチを自分で入れるということです。総合的な学習時間のように自ら学びに取り組む教育でのお子様たちの生き生きした姿から、「覚える学習」から「自ら学び考える学習」の大切さを、保護者の皆さまとも共有させていただきたいと考えております。

さて、今年度もしめくりとなり、いよいよお子様たちは2年生、3年生という学年に上がります。2年生は、1年生の学びを経て、3学年の中堅として、責任が増してくる学年であります。また3年生は、いよいよ最高学年として学校をリードする責任集団となるだけでなく、進学に向けた準備にいそむこととなります。早くも5月には沖縄への修学旅行が迫り、実施に向けた準備が始まってゆきます。

私たち教職員は、お子様たちの成長を願い、日々努力を積み重ねたいと念じております。保護者の方々には、これまで大変な1年におけるご協力・ご支援に心から感謝し、さらに来年度においても、お子様の成長と学習を見守り促すために、ご支援・ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

■離任する教職員からの言葉

3月をもちまして、以下の教職員が本校から転出・退任することとなりました。離任する教職員からの言葉を紙面にて紹介させていただきます。

吉吞 正美 特命教頭	(特別支援学級特命教頭・5年)
渡辺 景子 教諭	(音楽科・10年)
小路 美和 教諭	(理科・8年)
川股 直樹 講師	(社会科・2年)
籬 泰斗 講師	(国語科・1年)
篠原隆之介 講師	(特別支援・2年)
新田 浩平 講師	(特別支援・2年)
高原 弘行 用務員	(1年)
阿部 利子 校務補	(4年)

吉吞正美特命教頭

私はこの3月をもちまして、5年間の特命教頭の任期を終えます。

保護者の皆様には、この間、大変お世話になりまして心より感謝申し上げます。

生徒の皆さんとは、藤華祭や合唱祭、各学年の旅行的行事で交流しました。何事に対しても意欲的であり、卓越した行動力を持ち、仲間を大切に作る姿がとても印象的でした。

これからたくさんのことを学び、将来の目標に向かって努力を積み重ねてください。

皆様の益々のご健勝をお祈りいたします。ありがとうございました。

渡辺 景子 教諭

今年は、歌唱の授業を思ったように実施することができませんでしたが、1年生とは様々な紙を用いたリズム創作、2年生とはやチャイムの創作や附属釧路中との作品交流、ふじのめ学級のみなさんとは和太鼓の創作や人形浄瑠璃の鑑賞など、私にとってたくさんの新しいことにチャレンジできた1年になりました。これまでに経験した

ことのないピンチをチャンスに変えていく生徒のアイデアとたくましさ、言葉足らずの私の指導を支えてくださる保護者のみなさまの後押しのおかげで、頑張り切ることができたと感じています。大変お世話になりました。ここに通うみなさんが充実した学校生活を送り、笑顔で卒業式を迎えられるよう、応援しています。

小路 美和 教諭

この度、お世話になりました附属札幌中学校を離れ、転勤することになりました。これまで、藤華祭や研究大会、PTA 活動等において、保護者の皆様にはたくさんご協力をいただき、ありがとうございました。我々教職員と同じ思いで活動して下さる保護者の皆様の姿に、附属札幌中学校は、生徒と保護者、教職員の三者が共創していく学校であることを実感してきました。また、多くの卒業生が自分の目標に向けて努力していることを聞いてとても嬉しく思っています。この学校で身に付けた力は、中学校3年間だけでなく、生徒の将来を支える力だと思えます。ぜひ、今後も他者と協働して社会を切り拓いていってほしいと願っています。8年間充実した時を過ごすことができ、私自身が多くのことを生徒と保護者の皆様から学ぶことができました。本当にありがとうございました。

川股 直樹 講師

私にとっては初めての勤務校でした。緊張と不安が入り混じった中でのスタートでしたが、安心して生徒と関わることができ、笑顔で日々を過ごすことができました。それは保護者の方に藤華祭をはじめ、様々な場面・行事において、ご支援していただいたからです。ありがとうございます。このようなありがたい支えがあるから、素晴らしい環境を作り上げることができ、先生方や子どもたちと関わり、成長し合えることができました。2年間という短い間ですが、附属札幌中学校での勤務は人生において貴重な忘れられない時間になりました。学んだことを次に生かし、これからも成長し続けたいと思います。誠にありがとうございました。

籬 泰斗 講師

非常勤講師として1年間勤務してきました。その勤務の中で、子どもたちに驚かされることがたくさんありました。例えば、物語の解釈です。国語科の物語の授業では、様々な解釈が生まれます。私は事前の教材研究で、様々な解釈の可能性を探り、どのように授業を着地させるかを考えています。その上で実際に授業を行うのですが、着地させようと計画していた解釈よりも更に衝撃的・感動的で妥当性の高い解釈が子どもたちから発せられる時があるのです。その時の教室全体のなんとも言えない空気感が私はたまらなく好きでした。子どもたちが意欲的に授業に取り組み、一生懸命に考え、考えることを楽しまない、このような空気感は生まれません。本当によい子どもたちに恵まれました。まだまだ未熟者の私と一緒に授業を楽しんでくれた子どもたち、そして受け入れ支えてくださった保護者の方々、一年間本当にありがとうございました。

篠原 隆之介 講師

2年間という短い間でしたが、非常勤講師としてこの日まで勤めてこられたことに感謝しています。この2年間は社会の情勢も穏やかとは言えず、休校していた期間も短くはなかったですが、先生方や生徒と工夫しながら毎日の生活を実りあるものにしてこられたと思っています。卒業式も規模を縮小しながらも開催することができ、昨年から共に学んできた3年生の無事に卒業する姿を見られたことは一番の思い出です。来年度からは札幌市内の中学校で国語の教師として勤めます。この2年間で学ばせていただいたことを糧に子どもたちと向き合っていきたいと思っています。本当にありがとうございました。

新田 浩平 講師

短い期間ではありましたが、非常勤講師として過ごした2年間は、私にとってかけがえの



ない時間でした。この学校には、自らの考えをもち、それを表現できる子どもたちがたくさんいました。関わっていく中で「こんなにはっきりと自分の意見を伝えられるのか」「なるほど、そんな視点があったのか」と驚くことも多く、たくさんの刺激をもらいました。至らない点も多々あったと思いますが、温かく見守ってくださった保護者の皆様方や着実に成長していく姿を見せてくれる子どもたちに支えられ、多くの思い出と学びをいただくことができました。この経験を来年度から新しい学校で必ず活かしていきたいと思っています。本当にありがとうございました。

高原 弘行 用務員

3月31日で退職します。8ヶ月と短い間でしたが、生徒の皆様の勉学の合間に仕事をさせていただきました。授業の妨げにならないよう仕事をしてきましたが、無事に1年を終えられてホッとしています。保護者の皆様とはお会する機会が少なく、もう少し挨拶ができればよかったと思っています。これまでありがとうございました。

阿部 利子 校務補

ふじのめ学級の校務補として4年間、お世話になりました。元気な笑い声や素晴らしい歌声が響く校舎で、陰ながらではありますが子どもたちの成長を見守れたこと、毎日を過ごせた事を幸せに思います。コロナ禍で思うように活動が出来なかった1年で、悔しい思いもたくさんしたことでしょう。そんな中でも、元気に活動する子どもたちの生き生きとした表情は、マスク越しでも伝わってきました。たくさんの希望をいただき、ありがとうございます。

最後になりますが、子どもたちの今後の健やかな成長を心よりお祈り申し上げます。

<新年度当初の予定>

7日(水) 新任式・始業式
8日(木) 第76回入学式
12日(月) 委員・専門局員選出
3学年PTA・学級PTA懇談会
13日(火) 学級写真撮影
2学年PTA・学級PTA懇談会
14日(水) 3年学力テスト
15日(木) 1学年PTA・学級PTA懇談会
16日(金) 尿検査一次
17日(土) 午前:部活動結成集会(希望者のみ参加)
午後:PTA・ふじづる総会、PTA学年委員会、
PTA常務委員会、PTA役員会
19日(月) 歯科検診

20日(火) 前期承認式、委員会・専門局会
21日(水) オンライン授業参観日
23日(金) 合同体位測定
26日(月) 教育相談1(全学年) 色覚検査
27日(火) 教育相談2(全学年) 色覚検査
28日(水) 教育相談3(全学年) 色覚検査
尿検査二次



※新年度の予定は変更する可能性があります。

■定期券発売所における混雑緩和へのご協力をお願い

入学式当日や始業式当日の下校時間帯や、平日の夕方頃の時間帯は特に混雑が予想されるので、可能な限りこれらの時間帯を避けてご購入くださいとの連絡が、札幌市交通局から入りました。混雑緩和にむけて、交通局ホームページ(https://www.city.sapporo.jp/st/josyaken/teiki/teikikenhatsubaisyo_covid-19.html)をご確認の上、ご購入ください。